

りことパス

理工学図書館パスファインダー

英語学習

りことパスは、主に理工学分野の授業に関連するトピックについて、学習の初めの一歩となる資料や Web サイトを紹介するテーマ別調べ方ガイドです。作成は、理工学図書館のティーチング・アシスタント (TA) が行っています。学習やレポート作成に活用してください。



1. はじめに一英語学習について

「どうしたら英語が上手くなるのか？」

「どうすれば流暢に話せるようになるのか？」

そんな疑問に答えるべく、学生生活の間に最も必要であろう、より実践的な英語の学習方法と英語の資格(とりわけ TOEIC・TOEFL・IELTS)について紹介します！



2. 会話力・コミュニケーション力を高める

よく授業の試験や資格試験で高い点数を取るためといった目的があつて英語学習をしますが、特にそういった明確な目的がなく、普段から自分の英語の会話力を高めたいといった時のお勧めの学習法を紹介します。日本における英語教育がよく問題とされる理由には会話力やコミュニケーション力が鍛えられないということがあります。

2-1. まずは聞き取る力から

言語を学ぶ際には最初はほかの人が話しているのを聞いて理解することから始めます。会話においても何を言っているかを知ることが次の発言に進むための第一歩です。

①シャドーイング

シャドーイング(Shadowing: ~の後をつける、尾行する)とは、英文スクリプトを見ずに音声を聞いた後、少し遅れて発話する方法です。英語が聞こえてきたら少し遅れて、正確に、聞いたままをリピートすることがポイントです。正確で明瞭な発音を鍛えることもできますので、リスニングが比較的苦手な場合にお勧めします。

★はじめてのシャドーイング / 鳥飼玖美子ほか 著 【書誌 ID=2003698233】

★シャドーイング / 三島篤志, 小倉慶郎 著 【書誌 ID=2004021719】

★絶対『英語の口』になる!リアルな日常英会話で鍛えるシャドーイング大特訓 50 / 長尾和夫, トーマス・マーティン 著 【書誌 ID=2004298762】

②勉強したいコンテンツを選んで聞く

問題集にでてくるリスニング問題だけでなく、実際に映画やドラマを見てリアルな場면을想像することで実用的な使い方を学ぶことができます。コンテンツにもよりますが、「速すぎて聞こえない!」「雑音が多かったり発音がはっきりしなかったりして難しい!」という場合は、試験対策にも役立つネット上の練習コンテンツをお勧めします。

★映画で学ぶ英語を楽しむ / 高瀬文広編 【書誌 ID=2004369265】

■練習コンテンツ：iTunes にある Podcast

(iOS のスマートフォンをもっていなくても PC にダウンロード可能)
この Podcast は再生速度を変更することができるので、聞こえにくい部分の速度を遅くしたり、少しレベルを上げて速い英語を聞きたいときにはスピードを上げたりすることが簡単にできます。

購読例：『BBC Global Service News』『The English We Speak』

『バイリンガルニュース』等 (これら購読例は全て無料)

2-2. 流暢さと語法：

全体的に流暢に話せているか、適切な文法の使い分けと多様な文法を駆使しているか

自分が言いたい事を流暢に話す能力は、なかなかすぐには上達しません。まずは言いたい事をあらかじめ頭の中で考え、それを頭の中で日本語→英語へと変換する作業を頻繁に繰り返すことが大事です。自分の英語に首尾一貫性があるかどうかは辞書にある単語の例文が一番の模範とすることが良いでしょう。

以下のお勧めの図書の他にも、各図書館には「留学生用図書コーナー」や「視聴覚・映像資料コーナー」があり、DVD やビデオがあります。また、映像資料を日本語音声と一緒に英語字幕でみるという方法もお勧めです。

★9 割の日本人が使い方を間違える英単語 101 / 阿部一著 【書誌 ID=2004249161】

★日本人のための英語学習法 / 松井力也著 【書誌 ID=2004361533】

★ジョークで楽しむ英文法再入門 / 豊田一男編著 【書誌 ID=2004373631】

★一億人の英文法 一すべての日本人に贈る「話すため」の英文法一
/ 大西 泰斗, ポール・マクベイ 【書誌 ID= 2004304759】

2-3. 語彙力：適切な語彙と語彙の豊富さをもっているか

英語の勉強をしている人の中には、単語を覚えるのが苦痛だと感じている方が多いようですが、「英語と日本語を1対1で暗記しようとする」「日本語訳にこだわってしまう」等、非効率な方法で単語を暗記しようとしていないでしょうか。

提案としては、あまり明確に英語と日本語訳を結び付けないことです。例えば、「サンキュー (Thank You)」と言われた時、いちいち頭の中で「ありがとうございます」と訳している人はいないと思います。これは、すでに「サンキュー (Thank You)」という言葉が「感謝の気持ちを表している」ということが頭の中にインプットされているからです。

こういったことを意識して英単語を増やしていくと、単語の意味が覚えやすくなるでしょう。

本節の参考 Web サイト：『英単語を覚えるコツー効率のよい覚え方ー』
(<http://eword.hisierra.net/>)

★教養としての理系の英語：数式の英語の読み方から理系の英語表現・語彙 / 臼井俊雄著【書誌 ID=2004374541】

★Duo 3.0 : The most frequently used words 1600 and idioms 1000 in contemporary English / 鈴木陽一企画・著【書誌 ID= 2003657926】

★語源で増やすサイエンス英単語：語源とイメージイラストで理系の語彙を一気に増やして記憶にしっかり定着 / 清水建二著【書誌 ID=2004342673】

★英単語記憶術：語源による必須 6000 語の征服 / 岩田一男著
【書誌 ID=2004352120】

★ニューヨークタイムズで高める英語と国際教養 / 小塚良孝, 渡辺秀樹著
【書誌 ID=2004363332】



3. 就職や留学などの明確な目的がある：資格・テスト

3-1. TOEIC, TOEFL, IELTS の概要 (2015 年 11 月現在)

	TOEIC	TOEFL iBT	IELTS (Academic module)
開発機関	(米)ETS	(米)ETS	(英)British Council
主な目的	就職、インターンシップ等	留学、大学院入試、就職等	留学、大学院入試、就職等
内容 (試験順)	Listening →Reading	Reading →Listening →Speaking →Writing	Listening →Reading →Writing →Speaking
方式	マークシート方式	インターネット受験方式	記述式
満点	Total 990	Total 120	Overall 9.0
総時間	約2時間	4～4.5時間 (10分休憩)	約2時間45分
受験料	5,725円(税込)	\$230 (USD)	25,380円(税込)

最新情報や試験の詳細は各試験のページをご覧ください。

TOEIC <http://www.toEIC.or.jp/>

TOEFL <http://www.ets.org/jp/toefl/>

IELTS <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

3-2. それぞれ違う3つの試験

英語力を測る試験として特に有名なものが、TOEIC・TOEFL・IELTSですが、それぞれに特徴があります。ですので、まずは受験する目的と用途によってどの試験を受けるかを決め、そのうえでそれぞれの試験の形式に合わせた対策をしていく必要があります。各々の試験の対策に役立つ問題集・書籍もぜひ活用してみてください。

本節の参考 Web サイト：『TOEIC/TOEFL/IELTS/ 英検…英語系資格の違い』
(<http://magazine.campus-web.jp/archives/31847>)

◎本節で紹介する『阪大生のための海外留学ハンドブック 2015-2016』は下記の Web サイトからダウンロードできます。

・大阪大学 - 国際交流・留学 - 海外留学制度

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/ex_students.html

TOEIC (トイック)

大学生以上の受験者が大半を占めています。受験料も比較的安いことから、日本では企業の採用から昇給昇格まで、英語の試験といえば TOEIC というくらい、メジャーな試験となっています。就職活動だけでなく、会社に入ってから役立つ試験なので、ぜひ学生のうちに受けておくことをお勧めします。TOEIC ホームページ上の『「上場企業における英語活用実態調査 2013 年」報告書』によると、回答のあった国内上場企業のうち、68.6%が国際部門での業務遂行に「700 点以上のスコアを期待」しているとのことなので、在学中に 700 点以上を取れるようになると就職活動の際に有利であることが多いと思います。

★TOEIC テスト新公式問題集 vol.1 ～ vol.6 / Educational Testing Service 著 ; 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会編 【書誌 ID=2003680335】

TOEFL (トーフル)

中級から上級の英語力を持つ人が対象とされています。主に、海外の大学など高等教育機関へ留学する際に求められます。

TOEFL 公式 HP によると、アメリカ・イギリス・オーストラリア・ニュージーランド・カナダのほぼ全ての大学をはじめとして 130 か国 9,000 以上の機関が TOEFL のテストスコアを受け付けており、英語能力の証明、留学や入学・推薦入学の申請、奨学金やビザの申請をする際に利用する人が多くなっています。(TOEFL のスコアを受け付けている団体 / 機関についての詳細は TOEFL 公式 HP をご覧ください。)

TOEFL の試験科目は、試験順にリーディング・リスニング・スピーキング・ライティングの 4 つのセクションに分かれていて、パソコンを操作して行う試験であるのが特徴的です。スピーキング以外の 3 つのセクションでは、マウスのクリックもしくはタイピングで解答を入力します。スピーキングの試験ではマイクに解答を吹き込む形で行われます。また試験時間は約 4 時間半にも及ぶため、集中力・忍耐力やある程度の体力が必要です。また、TOEIC や IELTS と違って、各受験者がヘッドホンで個別に試験を受けるため、開始と終了時間が人によって多少違ってきます。点数は、各セクション 30 点満点、トータルで 120 点満点ですが、書類を受け付ける大学など機関ごとに必要な点数はそれぞれ違います。『阪大生のための海外留学ガイドブック 2015-2016』によると、例えば、阪大からカリフォルニア大学に交換留学を申請する際の 2015 年度の最低基準は、UCLA(ロサンゼルス校) の場合では 83 点ですが、UCB(バークレー校)だと 100 点です。このこと等から筆者の意見としては、90 点以上を目標に勉強するといいいかなと思います。

★Longman Preparation Course for the TOEFL iBT Student Book [2nd Ed.]

【書誌 ID=2004294375】

★はじめての TOEFL テスト完全対策: すべてのセクションに対応 [改訂版]

/ Paul Wadden, Robert Hilke, 松谷偉弘著 【書誌 ID=2004333819】

IELTS (アイエルツ)

英語能力が中級から上級の人を対象としており、TOEFLと同じように留学の際に求められる試験です。イギリス・カナダ・オーストラリア・ニュージーランドなどの大学で、英語力を測る基準として使われています。

イギリス・オーストラリア・ニュージーランドの機関では、TOEFLよりもIELTSが要求される場合が多いので、特に英語圏に留学希望の方は受けておくのがお勧めです。(※機関にもよるので要確認)

試験はリスニング・リーディング・ライティングは同じ日に行われます。スピーキングの試験は、日本国内の試験では通常、他の3つの試験と同日又はその翌日に実施されます。試験内容の特徴としては、TOEFLやTOEICと違って、リスニングとリーディングの問題形式が多様なことが挙げられます。

試験結果は1.0から9.0のバンドスコアで示されます。リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの順でパートごとの英語力がバンドスコアで示される他に、総合評価としてオーバーオール・バンドスコアが与えられます。『阪大生のための海外留学ガイドブック 2015-2016』によると、大阪大学の交換留学の協定大学では、概ね6.0から6.5を最低基準に、イギリスの大学院入試には概ね6.5から7.0が入学基準となっていますので、そこを目標とするのが良いでしょう。TOEFLと違って、IELTSスコアの総合評価は0.5単位で切り上げ方式である事が利点です。

IELTSの受験には本人確認のための書類がパスポートしか認められていません。パスポートを持っていないと受験ができないので注意が必要です。

★Cambridge IELTS 9 : authentic examination papers from Cambridge ESOL

【書誌ID=2004294190】

★スコアに直結!!IELTS 徹底対策テキスト & 問題集 / ケビン・ダン著

【書誌ID=2004369834】

★パーフェクト攻略 IELTS ライティング / 川端淳司著, Geoff Tozer 著; トフルゼミナール英語教育研究所企画・編集

【書誌ID=2004369536】

4. 最後に

留学の準備、趣味としての語学、交流を目的とした語学学習など、言語を学ぶ背景には、様々な目的と理由があります。英語を学ぶ目的も、英文でのメールを作成するため、教養として身につけるため、あるいは特定の分野における専門知識を得るためなど、様々でしょう。いずれにしろ言語の習得には、繰り返し学習し、常に根気強く、自分の苦手な部分を把握し、自分に合った対策を繰り返していくことが必要です。

そのモチベーションを保ち続けるためには、目の前の「大きな目標」（例：IELTS6.5獲得、交流において流暢に話す、英語によるプレゼンテーション等）とともに、それに合わせた「小さな目標」（例：今日から毎日シャドーイングを15分する、発言したい事を頭のなかで英訳する練習、使用する語彙の正しい使い方について調べて暗記する等）を計画し、かつ実践していくことが大切だと考えられます。

大阪大学附属図書館には英語学習のための様々な図書が置いてあるので、今回紹介したもの以外にも、ぜひ自分のニーズに合う図書を探してみたいかでしょうか。また何よりも、英語学習においては英語に対する楽しみを忘れないことが重要です。大学生だからこそできる留学や国際交流などを通じて「楽しく学ぶ」ことが望ましいと思われまます。

図書名・雑誌名の後に【書誌 ID】（10桁の数字）があるものは、大阪大学で所蔵しています。

この書誌 ID で、大阪大学 OPAC（蔵書検索システム）を検索することができます。

<http://opac.library.osaka-u.ac.jp/>

スマートフォン用 OPAC

